

第6回河道技術部会を開催しました!!

～福井県流域環境ネットワーク協議会～

福井河川国道事務所

撮影日:平成30年9月13日



福井河川国道事務所と福井県は、『福井県流域環境ネットワーク協議会 河道技術部会』において、コウノトリ等の多様な生物の生息・生育の場の創出を検討しています。

開催概要

現地視察

懇談会に先立ち委員のメンバーにより『片粕地区湿地創出事業』を視察しました。



会議

今回の会議では、河道掘削工事の経緯やモニタリングの中間報告を行い、委員の皆様よりご意見を頂きました。

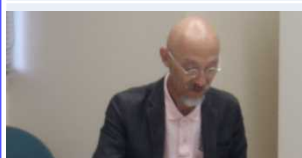
- 日時
平成30年10月21日(日)
(現地) 9:00～10:00
(会議) 10:30～12:30

- 場所
(現地) 福井市片粕地先
(会議) 福井河川国道事務所

委員紹介

部会長

福原 輝幸 (環境熱・水理学)
広島工業大学 工学部 環境土木工学科 教授



佐川 志朗 (水域生態学)

兵庫県立大学大学院 准教授
兵庫県立コウノトリの郷公園 主任研究員



田原 大輔 (魚類生理生態学)

福井県立大学
海洋生物資源学部 准教授



中村 圭吾 (河川工学)

国立研究開発法人土木研究所
水環境研究グループ河川生態チーム
上席研究員



奥村 充司 (水環境学)

国立福井工業高等専門学校
環境都市工学科 准教授



松村 俊幸 (鳥類学)

福井県自然保護センター 所長



委員の方の主な意見

- 小堤開口部が設計より変状しているが自然の力でこうなったので現状のままでよいのでは。開口部の安定性を知るために変化を記録すること。
- 大きな変状があった場合には委員に情報共有すること。
- コウノトリだけではなくヒクイナ(準絶滅危惧)の生息場所になる可能性もある。
- 里川連環部会も早く立ち上げて議論すること。
- 今後上流側に展開する中で湿地環境の機能面や効果面を定量化(全体のエサ資源量等)する必要がある。
- ラジコンヘリが飛んでいるとコウノトリが近づかない。
- いい水辺に触れる場所ができたので観察会等で認知度を上げて地元を含めた維持管理が出来ればよい。



部会開催の様子



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所 河川管理第一課
〒918-8015 福井市花堂南2-14-7 TEL 0776-35-2661